

三宅進の チェロは うたう！



チェロとお話 / 三宅 進 Susumu MIYAKE

桐朋学園大学卒業及び研究科修了。

巨匠ヤーノシュ・シュタルケル氏に認められ渡米し、インディアナ大学アーティスト・ディプロマコースに入学。ノーフォーク音楽祭にスカラシップを得て参加。

第21回東京国際コンクール室内楽部門入選。蓼科高原音楽祭賞。

帰国後、新ヴィヴァルディ合奏団、群馬交響楽団首席チェロ奏者、イソ弦楽四重奏団チェリストを歴任。ヴィンチャーマン指揮ドイツ・パッサ・ゾリステンへ参加。

北欧アンサンブル首席チェリスト、後進の指導、録音など幅広い分野で活躍。武蔵野音楽大学非常勤講師。客演首席奏者として、今までに新日本フィル、東京フィル、大阪フィル、札幌響、東京響、神奈川フィル、仙台フィル、日本センチュリー響、山形響、東京シティフィル、セントラル愛知響、東京ニューシティ管等のオーケストラに招聘されている。

またソリストとしても全国各地でのリサイタル、台湾国家交響楽団、群響などのオーケストラとの共演、またヘルヴィック・ツァック（シュツットガルト室内管元コンマス）、フェデリコ・アゴスティーニ（イ・ムジチ合奏団元コンマス）ペーター・シュミードル（ウィーンフィル首席）、堀米ゆず子、ヨセフ・ハーラ（スーク・トリオ）の諸氏らとの共演など活発な演奏活動を展開している。近年は海外での公演も多く、イタリア、ギリシャ、オーストリア、ギリシャ、トルコ、マケドニア、コソボ、フランス、ポーランド、韓国、マレーシア、台湾、中国等でのソロ、オケの共演、室内楽はいずれも好評を博している。

チェロを木越洋、安田謙一郎、ヤーノシュ・シュタルケルの各氏に師事。

2012年10月仙台フィル首席、2013年4月よりソロ首席に就任。宮城野区文化センター室内楽シリーズ Music from PaToNaでは音楽監修を務める。

使用楽器 Carlo.Tononi 1730ca. 弓 Tourte(ex.Casals)



ピアノ / 阿部 玲子 Reiko ABE

宮城学院女子大学学芸学部音楽科卒業。同研究科修了。故菊地明子、W.S.カンディフ、故林秀光、大西愛子、赤城真理の各氏に師事。

ウィーン国立アカデミー夏期講習、京都フランス音楽アカデミー受講。

仙台を拠点にソロ、飯塚由美氏とのピアノデュオ、室内楽の活動を行なう。

2003年第1回ピアノデュオコンクール in Tokyoにおいてグランプリに次ぐ優秀賞を受賞。日本の作曲家出版演奏XIXに出演。NHK-FMで放送。

「japanese composers 1999」CDに収録(本間雅夫作曲サウンドシフトNo.4)。ショパン協会東北支部新人演奏会、本間雅夫作品演奏会、現音仙台音楽展 IV・VI、東北の作曲家 in 仙台 '08 '09 '10 '13で初演。これまでに本間雅夫氏、佐々木隆二氏、小山和彦氏、門脇治氏の作品を初演。

仙台市被災復興記念ホールにてリサイタル、仙台市青少文化センターコンサートホール、仙台市太白区楽楽ホール、イズミティ小ホールにてデュオリサイタル開催。第4回仙台国際コンクール関連事業コンサート、ヤマハ仙台店サロンコンサート、カワイサロンコンサート、アテスウェイコンサートなど出演。

現在、東北生活文化大学短期大学部非常勤講師、宮城音楽学院講師、NPO法人東北青少年音楽コンクール理事及び審査部委員。

「SPC」ってなに？・・・会員募集中！

SPC(仙台フィルハーモニークラブ)とは仙台フィルハーモニー管弦楽団のファンクラブのこと。1995年9月、仙台フィルが大好きな聴衆の有志によって設立されました。演奏会後、お茶しながら感動を語りあったり情報を交換したり、または楽員との交流会を開催したりと、仙台フィルをサポートしながら楽しく活動しております。クラシック音楽といっても、堅苦しいことは一切なし！楽器が弾けなくても、楽譜が読めなくても、「わあ、この曲、なんか好き！」って感動したらもうあなたも仙フィルファン！一緒に仙台フィルを応援しませんか？企画や会報編集などの運営スタッフも募集しております。入会の申込みはSPC受付(定期演奏会ロビー)、茶話会(定期演奏会二日目終演後“けやきの杜”で開催)などで随時受付中。郵便、電話、メールでも受け付けております。

■年会費：大人 3,000円 高校生以下 1,500円 家族会員 1,000円

■〒980-0811 仙台市青葉区一番町 4-1-3 仙台市市民活動サポートセンター レターケース 90

■tel:090-6223-6203 ■Eメール: spc.admirer@gmail.com ■http://philharmony-club.net